

第6章：パソコンで作る

第4章までを自分で整理が出来た人は、いよいよパソコンで実際につくることとなります。自分でパソコンで作る気はないという方には必要がない項目かもしれませんが、読んで知っておくだけでもプラスです。なお、ここではパソコンの操作方法やソフトの使い方そのものは説明しません。ほとんどのソフトの操作方は書店で販売されている「ワードの使い方」などの書籍で充分ですし、皆さんの知識や努力で充分でしょう。この本で紹介するのはノウハウが中心ですから、ソフトの技術的な内容は割愛させていただきます。

パソコンで作るときにはどんなソフトがいいか？

世の中には色々なソフトがあります。正直言うと私も今現在どんなソフトがあるのか全てを知っているわけではありません。毎年（毎月？）新しいソフトがリリースされておりとても追いつけません。ですからここでは、比較的皆さんが手に入れやすいソフトや、すでに持っているであろうソフトを中心に紹介します。

マイクロソフト ワード (Word)

Microsoft社のワープロソフトです。Microsoft Officeの一部として提供されていますから、Windowsを使われている方ならお馴染みのソフト。Wordはワードプロセッサという性質上、比較的機能がシンプルで、他のソフトと比較して低価格です。

メリット	比較的簡単で、習得が早い。 価格が安く手に入れやすい。 自社でプリントして使うのに便利。 簡単なチラシならすぐできる。 持っている人が多い。 データを渡すのに都合がよい。	デメリット	印刷会社では対応できないことがある。 印刷会社でデータ変換が必要になる。 印刷会社では色が変わることがある。 デザインの自由度があまり高くない。 文字の装飾に限界がある。 地図には向いていない。
------	--	-------	--

結論から言えば、ワードはプロ用のソフトではないということになります。大量印刷のチラシや色合いが重要なチラシには不向きということですが、しかし、簡単さから言えば皆さんが自分でチラシを作るには最適なのではないのでしょうか。マイクロソフトのソフトですから、無料のクリップアートもついていて、取りあえず自分でチラシを作るにはちょうど良いと思います。最近ではワードに対応する印刷会社も随分増えてきましたから、大量印刷に不向きとは言え、一度相談してみるといいでしょう。インターネットではワードデータによる大量印刷のサービスをする会社がすぐに見つかります。

アドビ イラストレータ

アドビ社が提供している世界標準と言っても差し支えない最もスタンダードなデザインソフト。ほぼ全ての印刷会社・デザイン会社がこのソフトを持っています。皆さんが折込で見るチラシもパンフレットもポスターもこのソフトで作られます。

メリット デザインが自由自在。 色が正確にできる。 全ての印刷会社に渡すことができる。 地図など全ての制作ができる。	デメリット 操作の習得が難しい。(可能です) ソフトが高価(79,500円)
---	---

すでにこのソフトを持っている方はご存じでしょうが、素晴らしいソフトです。大袈裟かもしれませんが、世界中のデザイナーや制作者がこのソフトを使っているのではないのでしょうか。最近ではプロフェッショナルだけではなく一般の方もこのアドビイラストレータを購入し、使われるようになってきました。自分でソフトを習得する方もいれば、専門の教室に通ったり学校で学んだりしているようです。私は

別にこのアドビ社と関係があるわけではありませんが兎に角一番お薦めです。

問題点（？）としては少しばかり覚えるのに根気がいることでしょう。ワープロソフトなどと違い、自由自在さ故にきちんと覚えなければ使えません。このソフトの使い方の書籍がどこの書店でも販売されていますから一度ご覧になればいいと思いますし、使い方を覚えてしまったらここまで無敵のソフトはないのであなたにとって最強の【バカ売れのための道具】になること間違いなしです。

その他、印刷会社によっては受け付けることが出来るソフトのデータ形式があるかもしれませんが、同じパソコンで作ったデータだからといって、何でもいいわけではありません。データを印刷会社に渡して印刷を注文することを考えている人は、事前にソフト名やバージョンを伝えて確認してください。